

# 事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅲ-1-2 発達段階に応じた教育の振興

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 学校企画課長 高橋 泰幸 電話番号 0852-22-5408

事務事業の名称	学びの場を支える非常勤講師配置事業	
目的	(1) 対象	自学教室等での個別指導や学校図書館の活用の充実を図ることが必要な小・中学校 学校図書館を活用した授業実践に関する研究を行う小・中学校
	(2) 意図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自学教室等での個別指導を必要とする児童生徒に、継続的な学習指導を行う。</li> <li>・学校図書館活用教育を県内に普及し、児童生徒の情報活用能力及び思考力・判断力・表現力の育成を図る。</li> </ul>
事業概要	自学教室等での個別指導が必要な中学校に対して、担当教員の負担軽減と自学教室運営の充実や生徒指導体制の充実を図るために、自学教室の運営に関わる非常勤講師を配置する。 司書教諭が担任と連携した授業実践を行う等、学校図書館活用教育の充実を図るため、司書教諭をサポートするための非常勤講師を配置する。	

## 2. 成果参考指標

(1) 指標名	非常勤講師配置時間数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		32,200	32,200	32,200	31,150	
式・定義	配置時間数	実績値	32,078	32,200	31,150	30,793		時間
		達成率		100.00	96.70	95.70		%
指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		0.00	0.00			
式・定義		実績値	0.00	0.00	0.00			
		達成率		0.00	0.00			%

## 3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	70,304	70,179
うち一般財源 (千円)	47,250	47,167

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・自学教室等での個別指導の充実に係る非常勤講師については、中学校30校に30名を配置した。
- ・学校図書館教育充実のための非常勤講師については、小学校10校、中学校4校に計14名を配置した。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・自学教室で学習する生徒が安心して学習に取り組むことができた。
- ・自学教室の生徒を含め、教員が生徒一人一人と向き合う時間が増加した。
- ・担当教員は、これまで自学教室で対応していた時間を利用して、他生徒の対応や教材研究、事務業務等が行えるようになった。
- ・司書教諭を中心とした学校図書館活用に向けた指導体制が確立され、学習において学校図書館を活用した取組が充実した。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

- ・中学校においては、規模の大小に限らず、学級に適應できず自学教室等に通う生徒が増加している。学級の生徒への指導に加え、自学教室等の生徒への指導と担当教員の負担は増加しており、対応に苦慮する学校は多い。非常勤講師配置の要望に対して十分な配置ができていない。

### ②困っている状況が発生している「原因」

- ・学級に適應できず自学教室等に通う生徒が増加しているため。
- ・生徒への学習指導や生徒指導のほか、事務業務等による教員の多忙化のため。

### ③原因を解消するための「課題」

- ・自学教室等における生徒への指導体制を充実させること。指導体制充実を実現するための人員配置。
- ・各校において、生徒が学級への不適應を起こさないための生徒指導の充実を図ること。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・各学校の実態を十分に把握し、県全体のバランスを考慮しながら、より効果的な非常勤講師の配置を行っていく。
- ・学校訪問指導等で、各校に対して生徒が不適應等を起こさないよう生徒指導の充実や具体的な取組について指導を行っていく。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価（任意記載）